

3・8定期委員会の圧倒的成功を!

日刊 動労千葉

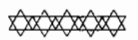
1988.3.4
No.2770

国鉄千葉動力車労働組合

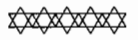
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(公衆)〇四七二二七二〇七

分割・民営化強行から一年

新たな闘いへ態勢を固めよう



三月八日、労働者福祉センターにおいて開催される第十八回定期委員会は「四・一分割・民営化」強行一周年をむかえ、決意も新たに闘う体制をうち固める重要な委員会である。圧倒的成功をステップに怒りの反撃にたちあがることを訴える。



動労千葉、国労破壊 II 「六三・三」の強行を許すな!

JR当局と動労革マル・鉄道労連はマスコミを総動員して「バラ色の六三・三」宣伝に血道をあげている。だが、内実はトンデモない反動と横暴が横行している。

現場の声、労働組合の主張には耳もかさず、運転保安・作業安全を切りすて、ただただ動労千葉、国労つぶしを全てに優先させる労務支配に終始しているのだ。

怒りも限度をこえている。各現場(支部)では青年部を先頭に怒りを燃やしながら反動JRへ、革マル松崎へ怒りの反撃がはじまっている。

敵の凶暴化、目茶苦茶さは、敵の強さを意味していない、むしろ逆である。国鉄労働運動破壊は完全に破産し、そのとりもどしのために、「ダイ改」さえ利用し、安全と運転保安の危機を極限にまで高めている。

三・八委員会の成功をステップに、決意も新たに反撃に転じようではないか。

組織・財政基盤を さらに強固にうち固めよう

われわれは、定期大会以降、冬期物販の貫徹、全支部での大会の成功、いすみ鉄道支部の結成等、着実に組織・財政基盤確立のたたかいの前進をちとってきた。

被解雇者の事業部闘争への着手、その後をがちりと受け継ぎ、新執行体制を確立してきた若い仲間たちの闘い、「四・一」一周年をむかえ、さらに意志一致を深め、七五〇名の団結をがっちり固め、八八年反撃戦にうって出よう!

三・二七三里塚を突破口に 八八年五大課題をやりぬこう!

①「六三・三ダイ改」強行を許さず、反合・運転保安闘争に決起しよう。

②スト体制を堅持し、強制出向阻止、強権的労務支配粉砕、権利奪還の闘いを強めよう。

③全組織をあげて、不当解雇・清算事業団強制配属撤回、強制配転粉砕、原職奪還を闘いよう。

④動労革マル・鉄道労連解体の闘いを強化しよう。

⑤芝山選(鈴木幸司氏)の圧勝の力にたって、3・27全国集会の大結集をかちとり、労農連帯を強化し、二期攻撃を粉砕しよう。

以上の五大課題を、全組合員がわがものとして、動労千葉の団結強化、動労総連合の一大飛躍を共にたたかいとろう!
定期委員会に結集しよう!

第18回定期委員会

・とき 3月8日(火)
13時から

・ところ 千葉県労働者
福祉センター
(千葉市役所そば)

委員会傍聴に全力で結集しよう

3・27三里塚全国集会に結集しよう